

学科課程カリキュラム 及び 授業計画

【情報電子システム工学科】
(東京上野キャンパス)

[履修にあつたての遵守事項]

我が国の大学教育は単位制度を基本としており、1 単位あたり 45 時間の学修を要する内容をもって構成することが標準とされている。ここでいう1 単位あたりの学修時間は、授業時間内の学修時間だけでなく、その授業の事前の準備学修・事後の準備復習を合わせたものになっている。この主旨を踏まえ、各教科の履修に当たっては、授業計画を参考に予習・復習に努め、1 単位当たりの学修時間を確保することに努めること。

2020年度
第一工業大学

(3) 共通総合教育科目(東京上野キャンパス)

凡例		○:必修科目 区分最低修得単位:科目区分ごとの修得すべき最低単位数(必修+選択)									
科目区分	科目番号	授業科目	科目単位	週授業時間数						区分最低修得単位	
				1年		2年		3年			
自己発見力(文化理解)	人との関わり	0171 東アジア史	2	2							10単位修得
	0158 やさしい哲学	2			2						
	0152 現代社会に生きる倫理	2				2					
	0551 体育実技Ⅰ	1			2						
	0552 体育実技Ⅱ	1				2					
	社会との関わり	0252 現代社会の諸相	2	2							
	0915 技術と経営	2			2						
	0254 涉学	2			2						
	0916 環境学	2	2								
	基礎学力	0507 数学入門Ⅰ	2	2							
工学基礎力	0508 数学入門Ⅱ	2	2								6単位修得
	0509 基礎物理Ⅰ	2	2								
	0510 基礎物理Ⅱ	2	2								
	0362 化学入門	2		2							
	0363 高分子化学	2			2						
技術者入門	0251 産業と人間	2	2								全科目から2単位修得
	0256 企業倫理	2					2				
社会人基礎力	国際化	0499 英語入門Ⅰ	2	2							18単位修得
	0500 英語入門Ⅱ	2	2								
	0501 実用英語Ⅰ	2		2							
	0502 実用英語Ⅱ	2			2						
	0503 総合英語Ⅰ	2		2							
	0504 英会話入門	2			2						
	0505 基礎中国語	2	2								
	0506 中国語	2	2								
	0067 日本語講座AⅠ	2	4								
	0068 日本語講座AⅡ	2	4								
	キャリア教育	0069 日本語講座BⅠ	2		4						18単位修得
		0070 日本語講座BⅡ	2			4					
		0159 コミュニケーション技術Ⅰ	1				2				
		0160 コミュニケーション技術Ⅱ	1					2			
		0939 キャリアデザインⅠ	1		2						
	0940 キャリアデザインⅡ	1			2						
	0934 ベンチャービジネス論	2			2						
	0936 経営リーダーシップ論	2			2						
	0935 マーケティング論(マーケティング論Ⅰ) (1954)	2	2								
	1955 マーケティング論Ⅱ	2	2								
共通総合教育科目 計				68						34	2
										36	

*科目の実施時期は変更される場合がある。

教科番号	205061	授業科目:	東アジア史 (History of East Asia)
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者: 丹野 健一郎
【授業の到達目標】			
東アジア(中国、およびその周辺国家や地域)の歴史だけでなく、社会、風土、地理などについて、いくつかのテーマを決めて、そのテーマに沿った内容をまとめて、受講生に提示し、東アジアへの理解を深めてもらうことを目標とする。			
【授業の概要】			
東アジアと言っても、中国とその周辺国家や地域の歴史を振り返るだけでなく、たとえば、上野キャンパスで学ぶ外国人留学生たちが、これまでの偏見や偏った知識の壁を越えて、さらに東アジアへの理解を深めてもらえる授業内容となるように設計した。特に最近の中国の動きの一つである一带一路構想や歴史的な背景をもつ諸問題についても理解を深めてもらえるように工夫をしたい。なお、事情により授業内容の一部に変更がある場合もある。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	東アジアの歴史を学ぶことについて	授業内ガイダンス	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90分
2	ネパールと東アジア(北京の白塔寺)	アルニコハイウェイ	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
3	交易と東アジアⅠ	シルクロード	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
4	交易と東アジアⅡ	海のシルクロード	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
5	1~3の小まとめ	授業振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
6	漢字の文化と東アジア	漢字文化の誕生	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
7	装飾品と東アジア	ヒスイ文化について	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
8	宗教と東アジア	世界三大宗教の東アジアへの影響	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
9	5~7の小まとめ	授業の振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
10	西洋と東洋の衝突Ⅰ	アヘン戦争と植民地獲得	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
11	西洋と東洋の衝突Ⅱ	独立戦争と民主化運動	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
12	東アジアの貿易戦争	産業立国日本の誕生	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
13	9~11のまとめ	授業振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
14	交易と東アジアⅢ	「一带一路」構想とはなにか?	Googleclassroom内で課題を出す。 全体で 90
15	まとめ	授業全体の振り返り	授業全体についての課題提出 全体で 90
【参考書・参考資料等】		授業内で指示する。	
【成績評価基準・方法】		授業内の課題(またはテスト)で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。	

教科番号	205061	授業科目:	東アジア史 (History of East Asia)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科	1年 2単位	担当者: 丹野 健一郎
【授業の到達目標】				
東アジア(中国、およびその周辺国家や地域)の歴史だけでなく、社会、風土、地理などについて、いくつかのテーマを決めて、そのテーマに沿った内容をまとめて、受講生に提示し、東アジアへの理解を深めてもらうことを目標とする。				
【授業の概要】				
東アジアと言っても、中国とその周辺国家や地域の歴史を振り返るだけでなく、たとえば、上野キャンパスで学ぶ外国人留学生たちが、これまでの偏見や偏った知識の壁を越えて、さらに東アジアへの理解を深めてもらえる授業内容となるように設計した。特に最近の中国の動きの一つである一带一路構想や歴史的な背景をもつ諸問題についても理解を深めてもらえるように工夫をしたい。なお、事情により授業内容の一部に変更がある場合もある。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	東アジアの歴史を学ぶことについて	授業内ガイダンス	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90分
2	ネパールと東アジア(北京の白塔寺)	アルニコハイウェイ	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
3	交易と東アジアⅠ	シルクロード	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
4	交易と東アジアⅡ	海のシルクロード	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
5	1~3の小まとめ	授業振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
6	漢字の文化と東アジア	漢字文化の誕生	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
7	装飾品と東アジア	ヒスイ文化について	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
8	宗教と東アジア	世界三大宗教の東アジアへの影響	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
9	5~7の小まとめ	授業の振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
10	西洋と東洋の衝突Ⅰ	アヘン戦争と植民地獲得	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
11	西洋と東洋の衝突Ⅱ	独立戦争と民主化運動	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
12	東アジアの貿易戦争	産業立国日本の誕生	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
13	9~11のまとめ	授業振り返り	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
14	交易と東アジアⅢ	「一带一路」構想とはなにか?	Googleclassroom内で課題を出す。	全体で 90
15	まとめ	授業全体の振り返り	授業全体についての課題提出	全体で 90
【参考書・参考資料等】		授業内で指示する。		
【成績評価基準・方法】		授業内の課題(またはテスト)で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	201581	授業科目：やさしい哲学(Introduction to Philosophy)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：丹野 健一郎		
【授業の到達目標】				
古今東西の文明で傑出した人物の生き方や考え方などを学ぶ。 本講義を通じて、受講生の資料読解能力、思考推理性、レポート作成能力、あるいは意見発表能力を養うこととする。				
【授業の概要】 東西文明の歴史を振り返るとともに、先人たちの生き方や価値観を知る。毎回の講義のはじめに前回の講義内容の確認をする。 現代社会で自分の存在や自分が生きてゆくことの意義を考える。なお、毎年、本講義は多くの外国人留学生が受講するが、日本語の表現能力に個人差があるため、基礎的な部分から講義を行い、理解しやすいように努める。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	本講義のガイダンス	講義内容の説明、要求課題などの説明	講義に関するガイダンス実施	全体で90分
2	中国の哲学①	孔子の思想	前回の振り返り、孔子の哲学思想	30 60
3	中国の哲学②	老子の思想	前回の振り返り、老子の哲学思想	30 60
4	イスラーム哲学	イスラーム哲学	前回の振り返り、イスラーム哲学思想	30 60
5	キリスト教哲学	キリスト教哲学	前回の振り返り、キリスト教の哲学思想	30 60
6	仏教哲学	仏教哲学	前回の振り返り、仏教の哲学思想	30 60
7	中間まとめ	これまでの講義内容を振り返る、および学生と議論をして、理解を深める。	前回の振り返り、授業回1～5の振り返り	30 60
8	ギリシア哲学①	プラトンを中心として	前回の振り返り、プラトンについて	30 60
9	ギリシア哲学②	ソクラテスを中心として	前回の振り返り、ソクラテスについて	30 60
10	ギリシア哲学③	アリストテレスを中心として	前回の振り返り、アリストテレスについて	30 60
11	絵画から見た哲学の世界①	騙し絵の世界	前回の振り返り、騙し絵とは？	30 60
12	絵画から見た哲学の世界②	宗教画の世界	前回の振り返り、宗教画の世界	30 60
13	現代の哲学①	私たちはどのように生きるべきか①	前回の振り返り、現代哲学思想について	30 60
14	現代の哲学②	私たちはどのように生きるべきか②	前回の振り返り、現代哲学思想について	30 60
15	本講義全体のまとめ	全体的なまとめ	前回の振り返り、授業回8～13の振り返り	30 60
【テキスト】	主にプリントを使用。			
【参考書・参考資料等】	参考図書は講義内で隨時、紹介する。			
【成績評価基準・方法】	毎回、講義内容についてのレポート作成、および積極的な発言を期待する。期末試験で70%、レポート点で30%の合計100%とし、総合的に評価する。			
【実務経験内容】	なし			

教科番号	201521	授業科目：現代社会に生きる倫理(Ethics in Modern Society)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：丹野 健一郎		
【授業の到達目標】				
(外国人留学生が多く履修する科目として)受講者の多様な価値観を尊重しつつ、多角的な視点から、お互いの意見をきちんと発表できるように努力することを目標とする。本講義の受講者は、日本語を母語としない外国人留学生が多いため、彼らの理解力に合わせた内容、および彼らが日本で「(何かを一生懸命に)考えるきっかけ」を与えるようなテーマも選んだ。この講義を選択する受講者には、欠席をせず、またインターネットからの知識に頼りすぎない自分の意見(オリジナル)を期待したい。				
【授業の概要】				
講義の中で紹介された事例について、自分の意見や相手の意見を整理し、共通点や相違点としてまとめるだけでなく、善悪の判断、さらには自分の価値観や考え方をしっかりと持つためにはどうしたらよいかを考える。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	授業ガイダンス	授業ガイダンス	授業説明、授業に関する相談	60 30
2	あなたはどう思う？①	ペットのお墓は必要か？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
3	あなたはどう思う？②	あなたは英雄になりますか？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
4	あなたはどう思う？③	人を見かけで判断することは正しいのか？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
5	あなたはどう思う？④	海外で生きてゆくことについて	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
6	あなたはどう思う？⑤	カンニング(試験の不正行為)の歴史	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
7	中間まとめ	①～⑤の振り返り、討論	①～⑤まとめ、①～⑤内容について討論	45 45
8	あなたはどう思う？⑥	お金で買えるもの、買えないものはある？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
9	あなたはどう思う？⑦	正直者が馬鹿を見る！？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
10	あなたはどう思う？⑧	よく生きるためにはどうするべきか？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
11	あなたはどう思う？⑨	日本人のいろいろな生き方について	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
12	あなたはどう思う？⑩	幸せとは何か？	前回の振り返り、今回の内容について	45 45
13	中間まとめ	⑥～⑩の振り返り、討論	⑥～⑩まとめ、⑥～⑩内容について討論	45 45
14	ゲストスピーカーによる講演、または映像視聴	講演に対する質問、または映像に関する議論	視聴、議論	45 45
15	全体のまとめ	まとめ	①～⑤まとめ、⑥～⑩まとめ	45 45
【テキスト】		教員作成のプリントを使用する。		
【参考書・参考資料等】		適宜、授業内で参考となる書籍を紹介する。		
【成績評価基準・方法】		毎回、講義時間内に小レポートを作成するため、早退や遅刻はしないこと。(作成しない場合は、欠席となる。)なお、不真面目な態度はマイナス評価となるため、注意すること。 (評価の目安：期末試験70% + 小レポート30% = 100%で総合的に評価する。)		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	205511	授業科目：体育実技 I (Physical Education Practice 1)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 1単位 担当者：丹野 健一郎		
【授業の到達目標】				
自己の学生生活における生活の質を高める一環として、健康増進のため、安全に注意しつつ、手軽にできる運動を通じて、基礎的な体力づくり(ウォーミングアップ後、ウォーキング、またはジョギングなどをする。)をめざす。さらに、適宜、郊外の施設等を利用し、グループでも楽しめる活動も計画し、本キャンパスの周辺環境を生かした体育実技となることを目標とする。				
【授業の概要】				
本キャンパスの学生は自宅・大学・アルバイト先という3つの点を移動する単調な生活をおくっている者が多いためでなく、入学後の健康診断で体重増加や各種の数値が医療機関による改善指導レベルに達するケースも散見されるため、手軽にできる運動を通じて、基礎的な体力づくりをめざし、青年期における健康管理の重要性を把握するきっかけとなることを期待している。なお、本科目は体育実技Ⅱとの連続となるため、履修登録の際は体育実技Ⅰと体育実技Ⅱを連続して登録すること。運動にふさわしい服装を準備し、参加すること。(サンダル、ジーンズ、スカート等による参加は欠席扱いとする。)				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	諸注意の説明	注意事項等の説明	全体で90分
2	実技	上野公園内での運動 (※荒天時は別途指示。)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
3	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
4	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
5	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
6	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
7	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
8	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
9	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
10	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
11	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
12	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
13	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
14	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
15	まとめ	運動テスト(自己ベストをめざす)	タイムトライアル	同上
【テキスト】		運動しやすい服装と靴を用意する。スマホで万歩計等の計測機能がついていることが望ましい。		
		適宜、プリントを配布する。なお、校外活動への参加のは別途、費用が発生することを留意。		
【成績評価基準・方法】		授業への参加(50%)、月1回～2回の週末における校外活動(関東周辺の登山など)への参加(30%)、レポート(20%)で評価する。また、健康増進に役立つと指導教員が判断できる場合に限り、学外のスポーツ大会や活動へ積極的に参加することも評価の対象とする。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	205521	授業科目：体育実技Ⅱ(Physical Education Practice 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 1単位 担当者：丹野 健一郎		
【授業の到達目標】				
自己の学生生活における生活の質を高める一環として、健康増進のため、安全に注意しつつ、手軽にできる運動を通じて、基礎的な体力づくり(ウォーミングアップ後、ウォーキング、またはジョギングなどをする。)をめざす。さらに、適宜、郊外の施設等を利用し、グループでも楽しめる活動も計画し、本キャンパスの周辺環境を生かした体育実技となることを目標とする。				
【授業の概要】				
本キャンパスの学生は自宅・大学・アルバイト先という3つの点を移動する単調な生活をおくっている者が多いためでなく、入学後の健康診断で体重増加や各種の数値が医療機関による改善指導レベルに達するケースも散見されるため、手軽にできる運動を通じて、基礎的な体力づくりをめざし、青年期における健康管理の重要性を把握するきっかけとなることを期待している。なお、本科目は体育実技Ⅱとの連続となるため、履修登録の際は体育実技Ⅰと体育実技Ⅱを連続して履修登録すること。運動にふさわしい服装を準備し、参加すること。(サンダル、ジーンズ、スカート等による参加は欠席扱いとなる。)				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	諸注意の説明	注意事項等の説明	全体で90分
2	実技	上野公園内での運動 (※荒天時は別途指示。)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
3	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
4	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
5	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
6	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
7	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
8	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
9	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
10	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
11	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
12	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
13	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
14	実技	上野公園内での運動(※同上)	ウォーミングアップ後、運動開始。	同上
15	まとめ	運動テスト(自己ベストをめざす)	タイムトライアル	同上
【テキスト】		運動しやすい服装と靴を用意する。スマホで万歩計等の計測機能がついていることが望ましい。		
		適宜、プリントを配布する。なお、校外活動への参加のは別途、費用が発生することを留意。		
【成績評価基準・方法】		授業への参加(50%)、月1回～2回の週末における校外活動(関東周辺の登山など)への参加(30%)、レポート(20%)で評価する。また、健康増進に役立つと指導教員が判断できる場合に限り、学外のスポーツ大会や活動へ積極的に参加することも評価の対象とする。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	202521	授業科目：現代社会の諸相(Various Aspects in Modern Society)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：鈴木 康治	
【授業の到達目標】				
社会学の基本的な概念や主要なトピックなどについて広く学ぶことを通じて、学問としての基本的な考え方やその現代的意義を理解し、今日の様々な社会問題を社会学的な視点から考察できるようになることが本講義の到達目標です。				
【授業の概要】				
人間関係が急速に多様化し、人びとの伝統的な身分や経済的境遇が流動化の度合いを増していく時代の中で社会学という学問は誕生しました。こうした社会の歴史的变化の趨勢を「近代化」と呼ぶとすれば、社会学とは「近代化」に由来する人間関係の諸問題を考察するために必要とされた学問であったともいえます。現代の人間関係は、情報社会化やグローバル化という新たな歴史的な展開を反映して、さらに複雑さを増しているように見えます。社会学を学ぶことのひとつの意義は、一見複雑な現代の人間関係を明確に理解するための有益な手がかりが方法論や理論的知見というかたちで得られるということです。				
本講義では、社会学がこれまでに作り出してきた基本的な概念や理論を学びつつ、社会学的な視点からの「社会の見方」を紹介していきます。社会学の視点を生かすことで、日々の身近な生活をこれまでとは違う角度から見つめ直すことが可能となります。本講義を通じて、人びとの多様な社会的関係性をその背後にある「社会的地位」・「社会構造」・「文化的規範」等に照らして分析することの重要性や面白さを認識してもらえれば幸いです。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	講義の概要	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	現代社会の理解Ⅰ	社会システム	テキスト(pp.14-31)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
3	現代社会の理解Ⅱ	法と社会システム	テキスト(pp.32-44)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
4	現代社会の理解Ⅲ	経済と社会システム	テキスト(pp.45-57)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
5	現代社会の理解Ⅳ	社会変動	テキスト(pp.58-71)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
6	現代社会の理解Ⅴ	人口と社会変動	テキスト(pp.72-90)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	120 60
7	1回～6回のまとめ	ディスカッションおよび小レポートの作成を通じてこれまでの授業内容の理解を深める。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	30 60
8	生活の理解Ⅰ	生活のとらえ方	テキスト(pp.92-104)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
9	生活の理解Ⅱ	家族	テキスト(pp.105-119)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
10	生活の理解Ⅲ	地域	テキスト(pp.120-135)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
11	人と社会の関係Ⅰ	社会的行為	テキスト(pp.138-150)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60

12	人と社会の関係Ⅱ	社会的役割	テキスト(pp.151-163)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
13	人と社会の関係Ⅲ	社会集団と組織	テキスト(pp.164-175)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
14	現代社会の課題	現代社会の諸問題をディスカッションおよび小レポートの作成を通じて考察する。	現代社会の特徴をノートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
15	まとめ	総括と展望	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	60 120
【テキスト】 『社会理論と社会システム 第3版』 社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版				
【参考書・参考資料等】 授業中に適宜紹介します。				
【成績評価基準・方法】 授業への参加状況を小レポートの内容(35%)から評価し、講義内容の理解およびその応用力を筆記試験(65%)によって評価します。				
【実務経験内容】 なし				

教科番号	209151	授業科目：技術と経営(Technology and Management)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：藤原 紗乃		
【授業の到達目標】				
授業の到達目標は、以下の2つである。				
1. 技術と経営、経営戦略、人材マネジメントに関する基本的な知識を習得すること。				
2. 学習した知識に基づき、現実の企業の技術経営に関する事象について受講生が自身のことばで説明できるようになること。				
【授業の概要】				
この授業では、技術と経営に関する基礎知識を学び、企業の経営戦略や人材マネジメントについての理解を深めるための学習を行う。実際の企業の事例を取り上げることにより、単なる知識の習得にとどまらず、現実の事象に関する考察・分析を行っていく。本授業では、学習効果の向上を企図し、積極的にグループ・ワークやディスカッションを行う。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	授業内容や成績評価方法などの説明	・課題についての検討、整理	
2	技術と経営	技術と経営の定義とその役割	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
3	競争戦略と競争優位	競争優位を生み出す競争戦略	・課題についての検討、整理 ・授業内容の復習	30 60
4	技術のマネジメント	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
5	経営戦略と技術	コア技術戦略と多角化戦略	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
6	イノベーション理論	イノベーションとは	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
7	イノベーションの役割	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
8	中間テスト	前半講義の理解度を確認するための中間テスト	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
9	知的財産制度	知的財産制度とその戦略	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
10	製品開発プロセス	製品開発プロセスの定義と事例	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
11	製品開発の組織	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
12	大量生産システム	大量生産システムと日本型生産システムについて	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
13	組織と技術のマネジメント	組織と技術のマネジメントについて	・テキストとノートを熟読 ・授業内容の復習	30 60
14	グループ発表と討議	グループ発表と、それに基づく議論を行う	・グループ発表の準備	30 60
15	総括	これまでの授業を総括する	・これまでの授業内容の確認 ・全体の復習	90 120
【テキスト】		初回の講義時に紹介、説明する。		
【参考書・参考資料等】		なし		
【成績評価基準・方法】		中間試験・期末試験(60%)とグループ発表を含む平常点(40%)を総合的に評価する。		
【実務経験内容】				

教科番号	202541	授業科目：法学(Law)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：鈴木 康治	
【授業の到達目標】				
日常生活において経験する様々な出来事の中に法学的問題を見出し、法学的思考を用いて考察できるようになることが本講義としての到達目標です。				
【授業の概要】				
法学に関する基礎概念について解説します。また現代日本法の制度や手続きを体系的に理解するために必要な基礎的な学習項目についても紹介していきます。「憲法」と「刑法」の各回では、公法の各領域について見てきます。「民法」と「会社法」の各回では、私法の各領域について見てきます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	講義の概要	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	憲法Ⅰ	憲法とは何か	テキスト(pp.28-39)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
3	憲法Ⅱ	人権	テキスト(pp.42-56)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
4	憲法Ⅲ	自由と公共の福祉	テキスト(pp.58-74)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
5	憲法Ⅳ	統治機構	テキスト(pp.76-92)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
6	憲法Ⅴ	統治の仕組み	テキスト(pp.94-107)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	120 60
7	1回～6回のまとめ	憲法と近代社会とのつながりをディスカッションおよび小レポートの作成を通じて考察する。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	30 60
8	民法Ⅰ	民法の原則、私的自治	テキスト(pp.112-125)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
9	民法Ⅱ	契約、債権	テキスト(pp.128-143)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
10	民法Ⅲ	物権、公示の原則	テキスト(pp.146-162)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
11	8回～10回のまとめ	ディスカッションおよび小レポートの作成を通じてこれまでの授業内容の理解を深める。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
12	刑法Ⅰ	刑法の機能、犯罪の定義	テキスト(pp.202-214)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60

13	刑法Ⅱ	違法性	テキスト(pp.216-232)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
14	会社法	株式会社	テキスト(pp.164-180)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
15	まとめ	総括と展望	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	60 120
【テキスト】		『これから勉強する人のための 日本一やさしい法律の教科書』品川 皓亮 日本実業出版社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜紹介します。		
【成績評価基準・方法】		授業への参加状況を小レポートの内容(35%)から評価し、講義内容の理解およびその応用力を筆記試験(65%)によって評価します。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	209161	授業科目：環境学(Environmental Study)	
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：村橋 毅
【授業の到達目標】			
現代社会において、地球環境保全は最も重要な問題であり、製造業・サービス業を問わず企業には環境配慮型の経営が求められている。そこで本科目では、環境を保全することにより社会に貢献できるようになるために、環境に関する基本的な知識を修得する。			
【授業の概要】			
近年、人間は生活の豊かさと利便性を追及した結果、生産活動の拡大、急速な人口増加、地球規模の環境破壊が問題となり、今や人類の生存の基盤をも脅かすまでになっている。この講義では、地球環境および生態系の変化を解説する。すなわち、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、森林破壊、砂漠化等の原因および現状、生態系・人体への影響等について解説する。また、これらの地球規模の環境問題に対する国際的協調の現状、エネルギー問題やライフスタイルの変化を含めた対応策を講義する。これらの講義を通して、地球環境の重要性および地球環境保護活動の必要性を認識する。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	地球環境と生態系	地球の環境と生態系	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
2	地球環境と生態系	オゾン層の破壊	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
3	地球環境と生態系	地球温暖化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
4	地球環境と生態系	酸性雨と海洋汚染	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
5	地球環境と生態系	森林の破壊と砂漠化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
6	地球環境と生態系	生物多様性の減少と有害廃棄物の越境移動	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
7	大気環境	主な大気汚染物質の発生源および影響	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
8	大気環境	室内空気汚染	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
9	水環境	水質汚濁と富栄養化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
10	水環境	上水道と下水道	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
11	有害化学物質	重金属汚染により発生した公害の事例	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
12	有害化学物質	環境ホルモン	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
13	有害化学物質	ダイオキシン類	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
14	アクティブラーニング	環境問題についての討論	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
15	アクティブラーニング	環境問題についての討論	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる
【テキスト】		「環境学」	
【参考書・参考資料等】		なし	
【成績評価基準・方法】		試験40%、予習・復習課題48%、討論発表課題12%	
【実務経験内容】			

教科番号	205071	授業科目：数学入門 I (Foundational Mathematics 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位 担当者：原 吉伸		
【授業の到達目標】				
本講義は、大学新入生が専門課程へ進級するに従い必要になってくる数学的思考・知識を習得することが目的である。よって、高度な数学的知識の習得ではなく、基礎的な知識の習得を目指したものである。 また、Excelの基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
講義はこまめに「小テスト」や「演習問題」を行い、例題ができる限り多く解く形で進めていく。 また、授業の節目で行う、「演習問題」や「中間テスト」「総括テスト」では、翌週に解説を行い、よく間違える箇所や問題が意味することなどを双方向のディスカッションを通じて理解を深める				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	前期授業のオリエンテーション	前期の授業内容を確認する 「小テスト」を行う	シラバスを確認する。授業の内容を復習する	30 60
2	数と式の計算	「小テスト」を解説後、「展開公式」や「因数分解」「平方根」「複素数」を学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
3	方程式	「数と式の計算」を復習後、「連立一次方程式」「代数方程式」を学ぶ	「連立一次方程式」と「代数方程式」を予習・復習する	60 60
4	関数とグラフ(I)	「方程式」の復習後、「直線」「放物線」のグラフの書き方を学ぶ。小テスト実施	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
5	関数とグラフ(II)	前回の復習後、「円」や「橜円と双曲線」及び「不等式」を学ぶ。小テスト実施	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
6	三角関数(I)	前回の復習後、「ラジアン単位」や「一般角」及び「三角関数」を学ぶ	「ラジアン単位」と「一般角」「三角関数」を予習・復習する	60 60
7	三角関数(II)	前回の復習後、「三角関数のグラフ」の書き方を学ぶ	「三角関数のグラフ」を予習・復習する	60 60
8	まとめと振返り(I)	第1回～7回までの範囲で、「中間テスト(I)」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 30
9	指数関数(I)	「中間テスト(I)」の解説後、「指数と指數法則」について学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
10	指数関数(II)	前回の復習後、「関数とグラフ」について学ぶ	「関数とグラフ」を予習・復習する	60 60
11	対数関数(I)	前回の復習後、「対数と対数法則」「常用対数と自然対数」を学ぶ	「対数と対数法則」を予習・復習する	60 60
12	対数関数(II)	前回の復習後、「対数関数とグラフ」について学ぶ	「対数関数のグラフ」を予習・復習する	60 30
13	関数の極限	前回の復習後、「収束と発散」を「学ぶ	「収束と発散」を予習・復習する	60 60
14	まとめと振返り(II)	「指数関数」「対数関数」及び「関数の極限」について、「演習問題」を行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
15	まとめと振返り(III)	前期まとめと総括、「演習問題」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
【テキスト】		大学新入生のための数学入門 石村園子著 共立出版		
【参考書・参考資料等】		適宜、プリントを配布する		
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、小テスト・演習問題(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する		
【実務経験内容】		警備サービス業(ネットワークシステムの構築等) コンサルタント業(経営コンサルティング等)		

教科番号	205081	授業科目：数学入門Ⅱ(Foundational Mathematics 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位 担当者：原 吉伸		
【授業の到達目標】				
本講義は、大学新入生が専門課程へ進級するに従い必要になってくる数学的思考・知識を習得することが目的である。よって、高度な数学的知識の習得ではなく、基礎的な知識の習得を目指したものである。 また、Excelの基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
講義はこまめに「小テスト」や「演習問題」を行い、例題ができる限り多く解く形で進めていく。 また、授業の節目で行う、「演習問題」や「中間テスト」「総括テスト」では、翌週に解説を行い、よく間違える箇所や問題が意味することなどを双方向のディスカッションを通じて理解を深める				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	後期授業のオリエンテーション	後期の授業内容を確認する 「小テスト」を行う	授業の内容を復習する	30 60
2	微分(Ⅰ)	「小テスト」解説後、「微分係数」と「導関数」を学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
3	微分(Ⅱ)	前回の復習後、「微分計算」と「関数の増減とグラフ」を学ぶ	「微分計算」を予習・復習する	60 60
4	積分(Ⅰ)	前回の復習後、「不定積分」と「定積分」を学ぶ。「小テスト」実施	「積分計算」を予習・復習する	60 60
5	積分(Ⅱ)	小テストの解説後、「面積」について学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
6	パラメータ曲線と極方程式(Ⅰ)	前回の復習後、「曲線のパラメータ表示」を学ぶ。「小テスト」実施	「曲線のパラメータ表示」を予習・復習する	60 60
7	パラメータ曲線と極方程式(Ⅱ)	小テストの解説後、「極座標と極方程式」を学ぶ。	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
8	まとめと振返り(Ⅳ)	微分と積分を主な範囲として、「中間テスト(Ⅱ)」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 30
9	複素平面と極形式(Ⅰ)	「中間テスト(Ⅱ)」の解説後、「複素平面」について学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
10	複素平面と極形式(Ⅱ)	前回の復習後、「極形式」について学ぶ	「極形式」を予習・復習する	60 60
11	ベクトルと空間図形(Ⅰ)	前回の復習後、「ベクトル」と「平面ベクトル」について学ぶ	「ベクトル」を予習・復習する	120 60
12	ベクトルと空間図形(Ⅱ)	前回の復習後、「空間ベクトル」と「空間図形」を学ぶ	「空間ベクトル」を予習・復習する	60 30
13	集合、順列、組み合わせ	前回の復習後、「集合」「集合演算」「順列と組み合わせ」「確率」を学ぶ	「集合」「順列と組み合わせ」を予習・復習する	60 60
14	まとめと振返り(Ⅴ)	まとめと総括、「演習問題」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
15	まとめと振返り(Ⅵ)	まとめと総括、「総活テスト」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	総活テストの実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
【テキスト】		大学新入生のための数学入門 石村園子著 共立出版		
【参考書・参考資料等】		適宜、プリントを配布する		
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、小テスト・演習問題(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する		
【実務経験内容】		警備サービス業(ネットワークシステムの構築等) コンサルタント業(経営コンサルティング等)		

教科番号	205091	授業科目：基礎物理 I (Basic Physics 1)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：宮内 貞一
【授業の到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> 力学(運動, エネルギー)及び簡単な熱力学の基本を習得し、簡単な計算ができるようになる。 物理分野の現象をイメージできるようになる。 			
【授業の概要】			
運動の法則、エネルギー、熱の物理法則を理解することに時間をかける。そのために身近な例や図を使う及び問題を解くことで十分理解できるようにする。簡単な例に応用する力も身に付け、物理関係の技術課題に対してある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるための、教養としての物理学を学ぶ。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	はじめに	授業目標、授業方法、成績評価、物理学学習の目的、物理量、有効数字	シラバス確認する。 授業内容を復習する。
2	運動の法則(1)	力のつり合い ベクトルとスカラー	テキストのpp.4-7, 15-17を読む。 授業内容を復習する。
3	運動の法則(2)	力のモーメントのつり合い 速度	テキストのpp.17-18, 22-23を読む。 授業内容を復習する。
4	運動の法則(3)	加速度運動 ニュートンの運動法則	テキストのpp.24-27を読む。 授業内容を復習する。
5	運動の法則(4)	落体の運動	テキストのpp.27-30を読む。 授業内容を復習する。
6	運動の法則(5)	摩擦力 静止流体	テキストのpp.18-22を読む。 授業内容を復習する。
7	運動の法則(6)	等速円運動、単振動	テキストのpp.31-34を読む。 授業内容を復習する。
8	運動の法則(7)	運動量と力積	テキストのpp.35-37を読む。 授業内容を復習する。
9	総合演習	学習内容の演習問題に取り組む。	テキスト、ノートによる復習。 演習問題の理解。
10	エネルギー(1)	仕事 仕事率	テキストのpp.41-43を読む。 授業内容を復習する。
11	エネルギー(2)	運動エネルギー エネルギー保存の法則 弾性エネルギー 保存力以外のエネルギー	テキストのpp.44-49を読む。 授業内容を復習する。
12	エネルギー(3)	弾性衝突 熱運動と熱エネルギー	テキストのpp.49-51を読む。 授業内容を復習する。
13	エネルギー(4)	気体の法則	テキストのpp.51-54を読む。 授業内容を復習する。
14	エネルギー(5)	気体分子の運動	テキストのpp.55-60を読む。 授業内容を復習する。
15	総合演習	学習内容の演習問題に取り組む。	テキスト、ノートによる復習。 演習問題の理解。
【テキスト】		薬学の基礎としての物理 学術図書出版	ISBN9784780600728
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜配布する	
【成績評価基準・方法】		宿題の達成状況(20%)、および定期試験(80%)により総合評価する。	
【実務経験内容】			

教科番号	205101	授業科目：基礎物理Ⅱ（Basic Physics 2）
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位 担当者：宮内 貞一

【授業の到達目標】

- ・ 波動、レーザ、電磁気学の基本を習得し、簡単な計算ができるようになる。
- ・ 物理分野の現象をイメージできるようになる。

【授業の概要】

波動、レーザ、電磁気学までの物理法則を理解することに時間をかける。そのために身近な例や図を使う及び問題を解くことで十分理解できるようになる。簡単な例に応用する力も身に付け、物理関係の技術課題に対して、ある程度理解ができ、将来他分野の技術者と協働できるようになるための、教養としての物理学を学ぶ。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	はじめに	基礎物理Ⅰ期末試験解説、授業目標、授業方法、成績評価	シラバス確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	波動(1)	波の表し方	テキストのpp.63-66を読む。 授業内容を復習する。	30 60
3	波動(2)	波の重ね合わせ 波の伝わり方	テキストのpp.67-72を読む。 授業内容を復習する。	30 60
4	波動(3)	音波	テキストのpp.73-77を読む。 授業内容を復習する。	30 60
5	波動(4)	光波	テキストのpp.78-84を読む。 授業内容を復習する。	30 60
6	レーザ(1)	レーザの原理	テキストのpp.87-91を読む。 授業内容を復習する。	30 60
7	レーザ(2)	レーザの種類	テキストのpp.92-95を読む。 授業内容を復習する。	30 60
8	電荷と電流(1)	電荷・電場・電位	テキストのpp.97-106を読む。 授業内容を復習する。	30 60
9	電荷と電流(2)	コンデンサ 電流と抵抗	テキストのpp.107-113を読む。 授業内容を復習する。	30 60
10	電荷と電流(3)	直流回路 パルス回路	テキストのpp.113-120を読む。 授業内容を復習する。	30 60
11	電場と磁場(1)	磁場と磁気力 磁場と磁力線 磁性体	テキストのpp.125-129を読む。 授業内容を復習する。	30 60
12	電場と磁場(2)	アンペール法則 電磁誘導 ローレンツ力	テキストのpp.130-138を読む。 授業内容を復習する。	30 60
13	電場と磁場(3)	マクスウェル方程式 交流回路	テキストのpp.139-148を読む。 授業内容を復習する。	30 60
14	量子物理入門	光の粒子性 X線 粒子の波動性	テキストのpp.152-158を読む。 授業内容を復習する。	30 60
15	総合演習	学習内容の演習問題に取り組む。	テキスト、ノートによる復習。 演習問題の理解。	30 60

【テキスト】	薬学の基礎としての物理 学術図書出版 ISBN9784780600728
--------	--------------------------------------

【参考書・参考資料等】	授業中に適宜配布する
-------------	------------

【成績評価基準・方法】	宿題の達成状況(20%)、および定期試験(80%)により総合評価する。
-------------	-------------------------------------

【実務経験内容】	
----------	--

教科番号	203621	授業科目：化学入門(Introduction to Chemistry)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：小野 勇
【授業の到達目標】			
工業材料や物質の基礎となる化学的な知識を系統的に身につけて、現代工業や環境との関係を理解する。そのため、次の4点を到達目標とする。			
(1) 化学式や化学用語を適切に使用することができる。 (2) 原子の構造と性質の周期性が系統的に理解できる。 (3) 化学反応の種類を理解し、適切な量論計算ができる。 (4) 工業や地球環境における化学現象を理解できる。			
【授業の概要】			
化学は、学んだ知識を系統的に結びつける発展性が何より重要である。この系統性を重視して授業を進めるが、これを身につけるためには十分な予復習が欠かせない。			
毎回の授業では、授業内容の再確認のための小テスト、あるいは、学生の能動的な考察力を養うための発展課題を出す。発展課題はグループで討論を行った上でミニレポートとして提出すること。これはアクティブラーニングの一環として行う。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	化学の世界	物質名や状態変化の日本語表記について学ぶ。	教科書第1章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
2	原子の構造	原子の構造と電子配置を学ぶ。	教科書第2章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
3	原子の周期的な性質(1)	原子の電子配置の周期性を学ぶ。	教科書第3章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
4	原子の周期的な性質(2)	原子の電子配置の周期性と性質との関係を学ぶ。	教科書第3章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
5	化学結合(1) 共有結合	共有結合の考え方を学ぶ。	教科書第4章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
6	化学結合(2) イオン結合と金属結合	イオン結合と金属結合の考え方を学ぶ。	教科書第4章をまとめる。 授業内容を復習する。 60 60
7	化学反応式	化学反応式と量論計算について学ぶ。	教科書第5章をまとめる。 授業内容を復習する。 60 60
8	酸と塩基	酸と塩基の定義と反応について学ぶ。	教科書第7章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
9	酸化と還元	酸化と還元の定義と応用例を学ぶ。	教科書第8章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
10	化学と物質：無機化合物(1)	無機化合物に関する実用例を学ぶ。	教科書第10章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
11	化学と物質：無機化合物(2)	無機化合物に関する実用例を学ぶ。	教科書第10章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
12	化学と環境	地球環境問題を化学的な視点から学ぶ。	教科書第12章をまとめる。 授業内容を復習する。 30 60
13	総合問題(1)	工業における化学の役割について討論し理解を深める。	今までの学習内容をまとめる ミニレポートの作成。 30 60
14	総合問題(2)	地球環境における化学の役割について討論し理解を深める。	配布プリントに目を通す。 ミニレポートの作成。 30 60
15	まとめ	まとめと総括	今までの授業内容を整理。 授業内容を復習する。 60 30
【テキスト】		基礎化学 化学の世界へようこそ 幅上・石川・櫻井・宮脇共著 三共出版	
【参考書・参考資料等】			
【成績評価基準・方法】		定期試験(45%)、小テスト・ミニレポート(45%)、授業への取り組み(10%)	
【実務経験内容】			

教科番号	203631	授業科目：高分子化学(Polymer Chemistry)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：小野 勇	
【授業の到達目標】				
工業材料や天然材料における高分子の知識をもち、その性質と化学構造との関係が理解できるようになることをめざす。そのために次の3点を到達目標とする。				
(1) 基本となる有機化学を理解し、化学式を正確に書くことができる。 (2) 高分子の性質を構造と関連づけて説明できる。 (3) 主な合成高分子と天然高分子の種類と利用について説明できる。				
【授業の概要】 身の回りの「形あるもの」の多くは高分子であり、われわれの生活は高分子に支えられていると言っても過言ではない。 高分子がもつ性質を化学的な視点で理解し、どのように利用されているかを系統的に学ぶ。 毎回の授業では、授業内容の再確認のための小テスト、あるいは、学生の能動的な考察力を養うための発展課題を出す。発展課題はグループで討論を行った上でミニレポートとして提出すること。これはアクティブラーニングの一環として行う。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	高分子を学ぶ意義	高分子と、その基礎となる有機化学が生活に役立てられていることを学ぶ。	シラバスを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	有機化学の基礎(1)	原子の構造と共有結合について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
3	有機化学の基礎(2)	組成式、構造式などの書き方や物質名を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
4	有機化学の基礎(3)	官能基の種類と性質について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
5	有機化学の基礎(4)	異性体の種類と生体に及ぼす影響について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
6	これまでのまとめ	有機化学に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
7	無機材料	金属、セラミックス、ガラスなどの無機材料について学ぶ。	配布プリントに目を通す。 ミニレポートの作成。	30 60
8	高分子化学の基礎	高分子の成り立ちと、構造式の書き方にについて学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
9	高分子の種類と用途	天然高分子と合成高分子の種類と用途について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
10	高分子の構造と性質(2)	高分子の導電性、力学的強度と分子構造との関係と実例を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
11	高分子の構造と性質(3)	高分子の吸水性、透過性と分子構造との関係と実例を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
12	高分子の構造と性質(4)	高分子の耐火性、耐熱性と分子構造との関係と実例を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
13	総合問題(1)	有機化合物と高分子に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
14	総合問題(2)	有機化合物と高分子に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
15	まとめ	まとめと総括	今までの授業内容を整理。 授業内容を復習する。	30 60
【テキスト】		プリント配付		
【参考書・参考資料等】		基礎化学 化学の世界へようこそ 幅上・石川・櫻井・宮脇共著 三共出版		
【成績評価基準・方法】		定期試験(45%)、小テスト・ミニレポート(45%)、授業への取り組み(10%)		
【実務経験内容】				

教科番号	202511	授業科目：産業と人間(Human Factors for Industry)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 (1)年 2単位 担当者：渡辺 哲		
【授業の到達目標】				
本講義では、「産業と人間」との関係をより具体的内容として、企業・大学における科学者(研究者・技術者)のあり方といった視点から考察する。企業において、研究者・技術者がどのような位置にあり、どのような役割を果たしているか。また、いくつかの研究者の道を紹介し、社会や企業が、研究者に対して何を要求しているかを考察することにより、その道へ進む人にとっての導きとなることを目指す。				
【授業の概要】 科学史、知的財産権、プレゼンテーションスキル、学術論文の出し方、研究者の倫理、新商品開発や研究の例、今後の勉強方法、等について学ぶ。 事前に資料を配布し学習した上で、学生のコミュニケーションスキルを向上させる対話形式の授業を目指す。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	科学者とは、	科学者の定義、研究者の人数、海外比較、所属研究機関、技術の始まり、ノーベル賞とは、	講義資料の内容を復習する	60
2	科学史	科学史概要を科学・技術・歴史との関係で捉える	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
3	社会・産業の今後	経済(マクロ経済・国際経済)社会(人口問題環境問題)から今後の技術開発動向を探る	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
4	企業における研究者・技術者とは、	大学の研究と企業の研究の違い、研究開発がビジネスになるまで・企業内研究者のライフサイクル・研究開発活動・研究開発マネージメント・21世紀に求められる研究者像・企業が望む大学教育とは	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
5	技術経営	・企業における技術経営の基本、・特に、イノベーションについて	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
6	知的財産権全般	知的財産権とは、	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
7	特許と実用新案	意義、要件、出願の流れ、具体的な例、IPマップ	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
8	意匠・商標	意義、要件、出願の流れ、具体的な例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
9	著作権	意義、要件、出願の流れ、具体的な例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
10	企業の求める人材とは	企業における人材に要求される能力について紹介する。特に、採用試験において、どのような視点で評価されるかを具体的に解説する。	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
11	プレゼンテーションとは	基本、要件、形式、具体的な技法の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
12	学術論文、研究者の倫理	論文の意義、発表方法、査読、近年の倫理問題	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
13	第四次産業革命とは	IoT,ビッグデータ,AI,等新技術の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
14	新商品開発物語他、勉強方法他	磁気記録&光記録システムの開発と具体的商品化例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
15	まとめ	講義のまとめ	全講義資料・課題の内容を予習・復習する	120 120
【テキスト】		独自プリント		
【参考書・参考資料等】		・社会科学(時事通信社)・科学者ってなんだ?(コロナ社)・知的財産検定2級テキスト(日経BP社)・知的財産検定2級テキスト(知的財産協会)・「ソニー・会社を変える採用と人事」中田研一郎(角川書店)・理系のための口頭発表術(ブルーバックス)・情報活用力(noa)・竹中式マトリックス勉強法(幻冬舎)、ほか多数		
【成績評価基準・方法】		定期試験(80%)、質疑応答(20%)、視聴態度、必要に応じてレポート提出。講義は、質問形式の問い合わせがあり、また、講師と学生間において対話形式の授業形態も採用する。		
【実務経験内容】		情報通信事業(研究所において光記憶装置の要素研究、開発、ドライブ設計等)		

教科番号	202561	授業科目：企業倫理(Corporate Ethics)	
開講時期	後期	情報電子システム工学科 3年 2単位	担当者：木下 和歩
【授業の到達目標】			
企業倫理は、将来技術者として専門的な仕事に携わったとき遭遇するであろう倫理的ジレンマにどのように対処していったらよいかを学ぶ。技術者として就職したとき、誰もが直面する問題なので理解を深めるように努力していただきたい。			
【授業の概要】			
過去に発生した事例を活用して、倫理的ジレンマの仮想体験しながら企業倫理を身につける。特に、グループ討論を通して多様な考え方や価値観を認め合いながら、その中から最適解を導く。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	企業倫理とは	倫理とコンプライアンス、倫理の規範性と普遍性	教科書P12までの予習
2	大震災を考える	テレビ局記者への対応、放射能汚染に関する相談ボランティア	教科書P16までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
3		防災無線の呼びかけ	教科書P20までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
4		新幹線と地震対策	教科書P20までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
5		福島第一原子力発電所の事故と電気技術	教科書P31までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
6		原子力発電所の事故を振り返って	教科書P44までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
7	1回～6回のまとめ	授業で提起された問題点について、グループごとに分かれて討論	レポート作成
8	研究を考える	研究者のモラル	教科書P47までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
9		新製品の開発競争	教科書P49までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
10		論文問題と利益相反	教科書P604までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
11		島秀雄と技術者倫理	教科書P80までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
12	見方を広げる	訓練と非常事態時の行動	教科書P89までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
13		技術の流出	教科書P91までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
14	企業倫理と技術者倫理の関係	スペースシャトル打ち上げ失敗事故を題材として、企業と技術者の倫理感について	教科書P103までを読み、自分の考えを討議前・後まとめる
15	まとめ	企業で技術者が持つべき倫理観について総まとめをする。	レポート作成
【テキスト】	事例で学ぶ技術者倫理(出版社:電気学会、著者:電気学会倫理委員会)		
【参考書・参考資料等】			
【成績評価基準・方法】	出席:50%、各テーマのレポート課題提出:50%		
【実務経験内容】	半導体メーカー(マイコン開発・設計、海外マーケティング・市場開拓等)		

教科番号	204991	授業科目：英語入門 I (Introduction to Basic English 1)
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位 担当者：大久珠緒
【授業の到達目標】		
この授業では、文法を学ぶことによって、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの基礎的な英語運用能力を習得することを目標としています。		

【授業の概要】
教科書に沿って授業を行います。授業では、練習問題を解くこと、解答への解説、クラスメートとのペアワークなどで、授業に積極的に参加することが求められます。質問は隨時受け付けます。

【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	授業方針、評価についての説明		
2	UNIT 1	現在時の表現(1)	教科書2–3ページを読む	60分
3	UNIT 2	現在時の表現(2)	教科書4–5ページを読む	60分
4	UNIT 3	過去時の表現	教科書6–7ページを読む	60分
5	UNIT 4	過去時の表現	教科書8–9ページを読む	60分
6	UNIT 5	依頼・勧誘の表現	教科書10–11ページを読む	60分
7	UNIT 6	提案の表現	教科書12–13ページを読む	60分
8	中間試験	Lesson 1–Lesson 6のまとめ	教科書2–13ページを見直す	120分
9	UNIT 7	忠告の表現	教科書14–15ページを読む	60分
10	UNIT 8	意図・決意の表現	教科書16–17ページを読む	60分
11	UNIT 9	使役の表現	教科書18–19ページを読む	60分
12	UNIT 10	命令の表現	教科書20–21ページを読む	60分
13	UNIT 11	許可・禁止の表現	教科書22–23ページを読む	60分
14	UNIT 12	原因・理由の表現	教科書24–25ページを読む	60分
15	UNIT 13	目的・結果の表現	教科書26–27ページを読む	60分
【テキスト】		Basic English Expressions and Short Readings 福井慶一郎 加藤主税 他著 朝日出版社		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度(40%)、試験(60%)		
【実務経験内容】				

教科番号	205001	授業科目：英語入門Ⅱ(Introduction to Basic English 2)
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位 担当者：大久珠緒

【授業の到達目標】

この授業では、文法を学ぶことによって、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの基礎的な英語運用能力を習得することを目標としています。

【授業の概要】

教科書に沿って授業を行います。授業では、練習問題を解くこと、解答への解説、クラスメートとのペアワークなどで、授業に積極的に参加することが求められます。質問は随時受け付けます。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	UNIT 14	讓歩の表現	教科書28–29ページを読む	60分
2	UNIT 15	様態・範囲・制限の表現	教科書30–31ページを読む	60分
3	UNIT 16	推量・可能性の表現	教科書32–33ページを読む	60分
4	UNIT 17	感情の表現	教科書34–35ページを読む	60分
5	UNIT 18	比較の表現(1)	教科書36–37ページを読む	60分
6	UNIT 19	比較の表現(2)	教科書38–39ページを読む	60分
7	UNIT 20	仮定の表現(1)	教科書40–41ページを読む	60分
8	UNIT 21	仮定の表現(2)	教科書42–43ページを読む	60分
9	中間試験	Lesson 14–Lesson 21のまとめ	教科書28–43ページを見直す	120分
10	UNIT 22	否定の表現	教科書44–45ページを読む	60分
11	UNIT 23	強調・倒置の構文	教科書46–47ページを読む	60分
12	UNIT 24	名詞構文・無生物主語構文	教科書48–49ページを読む	60分
13	今までの復習(1)	UNIT 1–UNIT 13のまとめ	教科書2–27ページを見直す	60分
14	今までの復習(2)	UNIT 14–UNIT 21のまとめ	教科書28–43ページを見直す	60分
15	今までの復習(3)	UNIT 22–UNIT 24のまとめ	教科書44–49ページを見直す	60分
【テキスト】		Basic English Expressions and Short Readings 福井慶一郎 北山長貴 他著 朝日出版社		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度(40%)、試験(60%)		
【実務経験内容】				

教科番号	205011	授業科目：実用英語 I (Practical English 1)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：秦 理恵子
【授業の到達目標】			
自然な速さのリスニングに慣れ、通じる発音でのスピーキングを通して、英語でのコミュニケーションができることを目指します。			
【授業の概要】			
各ユニットのテーマに沿った単語の習得、ディクテーション、会話練習と共に、TOEICを意識したリスニング演習をします。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	発音記号の復習	基本的な発音記号が読めるようにする	
2	Unit1前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit1の予習、授業内容の復習 30分 30分
3	Unit1後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit1の予習、授業内容の復習 30分 30分
4	Unit2 前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit2の予習、授業内容の復習 30分 30分
5	Unit2 後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit2の予習、授業内容の復習 30分 30分
6	Unit3 前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit3の予習、授業内容の復習 30分 30分
7	Unit3 後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit3の予習、授業内容の復習 30分 30分
8	Interview	グループごとに英語でお互いにインタビューし、発表	インタビュー内容を考える、感想をまとめる 30分 30分
9	Unit4 前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit4の予習、授業内容の復習 30分 30分
10	Unit4 後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit4の予習、授業内容の復習 30分 30分
11	Unit5 前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit5の予習、授業内容の復習 30分 30分
12	Unit5 後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit5の予習、授業内容の復習 30分 30分
13	Unit6 前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit6の予習、授業内容の復習 30分 30分
14	Unit6 後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit6の予習、授業内容の復習 30分 30分
15	Skit	グループごとに英語で寸劇を作り、発表	寸劇のプロットと会話を考える、感想をまとめる 30分 30分
【テキスト】		Developing Listening Skills 1 Third Edition	
【参考書・参考資料等】		授業時に適宜配布	
【成績評価基準・方法】		試験60% 発表20% 授業参加度20%	
【実務経験内容】			

教科番号	205021	授業科目：実用英語Ⅱ(Practical English 2)	
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：秦 理恵子
【授業の到達目標】			
正しい発音を聞き取り、通じる発音で円滑にコミュニケーションを取る能力をつけることを目指します。			
【授業の概要】			
会話、ディスカッション、プレゼンテーションなど発信の練習と共に、リスニングの力を磨きます。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	Unit7前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit7の予習、授業内容の復習 30分 30分
2	Unit7後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit7の予習、授業内容の復習 30分 30分
3	Unit8前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit8の予習、授業内容の復習 30分 30分
4	Unit8後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit8の予習、授業内容の復習 30分 30分
5	Unit9前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit9の予習、授業内容の復習 30分 30分
6	Unit9後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit9の予習、授業内容の復習 30分 30分
7	Unit10前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit10の予習、授業内容の復習 30分 30分
8	Unit10後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit10の予習、授業内容の復習 30分 30分
9	Introduction of your culture	出身地の文化を英語で紹介	スピーチ原稿の作成、感想をまとめる 30分 30分
10	Unit11前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit11の予習、授業内容の復習 30分 30分
11	Unit11後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit11の予習、授業内容の復習 30分 30分
12	Unit12前半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit12の予習、授業内容の復習 30分 30分
13	Unit12後半	教科書に沿ってリスニングとスピーキングの練習	Unit12の予習、授業内容の復習 30分 30分
14	Discussion	グループごとにテーマを選択し、ディスカッション	テーマと意見の準備、結果をまとめる 30分 30分
15	Presentation	期末試験のプレゼンテーション予行	期末試験の発表原稿下書き 発表原稿を入力および印刷して提出 30分 30分
【テキスト】		Developing Listening Skills 1 Third Edition	
【参考書・参考資料等】		授業時に適宜配布	
【成績評価基準・方法】		試験60% 発表20% 授業参加度20%	
【実務経験内容】			

教科番号	205031	授業科目：総合英語 I (General Learning of English 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：大久 珠緒		
【授業の到達目標】				
TOEICの出題傾向、解答の対策、解答に必要な英語力を習得することを目標としています。				
【授業の概要】				
教科書に沿って授業を行います。TOEICの練習問題を解くことによって、実践的な演習を進めます。出題傾向、解答時の注意事項も確認します。質問は隨時受け付けます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	授業方針、評価についての説明		
2	MISSION 1 Shopping	リスニング	MISSION 1 のPart 1 – Part 4	60分
3	MISSION 2 At a Restaurant	文法・読解	MISSION 2 のPart 5 – Part 7	60分
4	MISSION 3 At ab Airport	リスニング	MISSION 3 のPart 1 – Part 4	60分
5	MISSION 4 Entertainment	文法・読解	MISSION 4 の Part 5 – Part 7	60分
6	MISSION 5 At a Hotel	リスニング	MISSION 5 の Part 1 – Part 4	60分
7	MISSION 6 Job Hunting	文法・読解	MISSION 6 の Part 5 – Part 7	60分
8	中間試験	Unit 1 – Unit 6 のまとめ	MISSION 1 – MISSION 6 の見直し	120分
9	MISSION 7 Telephoning	リスニング	MISSION 7 の Part 1 – Part 7	60分
10	MISSION 8 Negotiating	文法・読解	MISSION 8 の Part 1 – Part 4	60分
11	MISSION 9 Giving a Presentation リスニング	リスニング	MISSION 9 の Part 1 – Part 4	60分
12	MISSION 10 Appointments	文法・読解	MISSION 10 のPart 1 – Part 4	60分
13	MISSION 11 At a bank	文法・読解	MISSION 11の Part 5 – Part 7	60分
14	MISSION 12 On the Street	リスニング	MISSION 12 のPart 1 – Part 4	60分
15	MISSION 13 Taking a Trip	文法・読解	MISSION 13 のPart 5 – Part 7	60分
【テキスト】		Raise Your Score 150 Plus on the TOEIC Test 松岡昇 傍島一夫 著 松柏社		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度(40%)、試験(60%)		
【実務経験内容】				

教科番号	205041	授業科目：英会話入門(English Conversation – Introduction)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：大久 珠緒		
【授業の到達目標】				
この授業では、日常生活に即した英語に触れることにより、リスニング能力や会話能力等、実践的な英語コミュニケーション能力を習得することを目標としています。				
【授業の概要】				
教科書に沿って授業を行います。クラスメートとのペアワークや英語での会話、リスニング、質疑応答等で、授業に積極的に参加することが求められます。質問は隨時受け付けます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	授業方針、評価についての説明		
2	Unit 1 May I help you?	リスニング、会話	Unit 1のリスニング、会話	60分
3	Unit 2 What do you do on the weekend?	リスニング、会話	Unit 2のリスニング、会話	60分
4	Unit 3 That sounds interesting!	リスニング、会話	Unit 3のリスニング、会話	60分
5	Unit 4 I'm not feeling well.	リスニング、会話	Unit 4のリスニング、会話	60分
6	Unit 5 You shouldn't step there!	リスニング、会話	Unit 5のリスニング、会話	60分
7	Unit 6 Why don't we buy potatoes, too?	リスニング、会話	Unit 6のリスニング、会話	60分
8	中間試験	Unit 1–Unit 6 のまとめ	Unit 1–Unit 6を見直す	120分
9	Unit 7 Would 5pm be convenient for you?	リスニング、会話	Unit 7のリスニング、会話	60分
10	Unit 8 I'll have to pass.	リスニング、会話	Unit 8のリスニング、会話	60分
11	Unit 9 I have an idea.	リスニング、会話	Unit 9のリスニング、会話	60分
12	Unit 10 Could you do me a favor?	リスニング、会話	Unit 10のリスニング、会話	60分
13	Unit 11 I think you could explain this more.	リスニング、会話	Unit 11のリスニング、会話	60分
14	Unit 12 I don't get what you mean.	リスニング、会話	Unit 12のリスニング、会話	60分
15	Unit 13 I'm so sorry to hear that.	リスニング、会話	Unit 13のリスニング、会話	60分
【テキスト】		MUST-HAVE English Skills for Global Communication 柴田真一 神藤理恵 他著 金星堂		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度(40%)、試験(60%)		
【実務経験内容】				

教科番号	205051	授業科目:	基礎中国語 (Basic Chinese 基础汉语)
------	--------	-------	------------------------------

開講時期	前期	情報電子システム工学科(1)年(2)単位	担当者: 丹野 健一郎
------	----	----------------------	-------------

【授業の到達目標】

まず、この科目は2018年度入学者で中国語の学習を希望する非中国語圏の学生(日本人、ネパール人、バンガラデシュ人、ベトナム人、ミャンマー人など)を対象として開講する。次に、この授業で使用するテキストは、「はじめて!中国語」(白水社)であり、各場面の学習を通して、身近な内容から現代中国語(普通話とよばれる標準語)の基礎・基本を身につける。そして、現代中国語の学習を通して、中国の文化、社会などに対する理解も深め、現代中国に関する基本的知識を学ぶことを目標としている。

【授業の概要】

中国語の入門講義として、発音や基本文法などの基礎を重視し、実践的な日常会話を場面ごとに学ぶ。教科書の各課のテーマに従い、関連する現代の中国の各事情(社会、歴史、風俗、民族、経済などを含む)を紹介する。この「基礎中国語」は、発音を含む基礎段階の知識を学習してから、その後、本文の第1課から第6課程度(ただし、実際の進捗状況による)を学習し、後期開講の「中国語」では第7課から第12課を学習し、基礎レベルの習得を目指す予定である。よって、「基礎中国語」を選択する者は後期開講の「中国語」も履修することを強く望む。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	授業ガイダンス	中国語の世界	ガイダンス、注意事項等	全体で 90分
2	発音編	発音練習①	発音練習①	全体で 90
3	発音編	発音練習②	前回の復習、発音練習②	30 60
4	発音編	発音練習③	前回の復習、発音練習③	30 60
5	発音編のまとめ	発音編まとめ	到達度チェック	全体で 90
6	第1課	校門で	第1課の内容	全体で 90
7	第2課	廊下で	前回の復習、第2課の内容	30 60
8	第3課	キャンパスで	前回の復習、第3課の内容	30 60
9	第1課～第3課、まとめ	まとめ(復習)	第1課～第3課の総復習	全体で 90
10	第4課	携帯を見ながら	第4課の内容、自己紹介	全体で 90
11	第5課	学生食堂で	前回の復習、第5課の内容	30 60
12	第6課	王先生の研究室で	前回の復習、第6課の内容	30 60
13	第4課～第6課のまとめ	まとめ(復習)	第4課～第6課の総復習	全体で 90分
14	発音編～第3課までの総復習	総復習①	総復習、試験の指示	全体で 90
15	第4課～第6課までの総復習	総復習②	総復習、試験の指示	全体で 90

【テキスト】	はじめまして!中国語(予定)白水社
--------	-------------------

【参考書・参考資料等】	授業内で指示する。
-------------	-----------

【成績評価基準・方法】	授業内の小テスト+期末試験+課題で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。
-------------	--

【実務経験内容】	なし
----------	----

教科番号	205061	授業科目:	中国語 (Chinese)	
開講時期	後期	情報電子システム工学科(1)年(2)単位		担当者: 丹野 健一郎
【授業の到達目標】				
				まず、この科目は2018年度入学者であり、中国語の学習を希望する非中国語圏の学生(日本人、ネパール人、バングラデシュ人、ベトナム人、ミャンマー人など)を対象として前期に開講した「基礎中国語」の内容を継続した科目として開講する。次に、この授業で使用するテキストは、「はじめまして！中国語」(白水社)である。教科書の内容に従い、各場面の学習を通じて、身近な内容から現代中国語(普通話とよばれる標準語)の基礎・基本を身につける。さらに、現代中国語の学習を通して、中国の文化、社会などに対する理解も深め、現代中国に関する基本的知識を学ぶことを目標としている。
【授業の概要】				
				前期「基礎中国語」の復習、および、この授業科目で指定している教科書本文の第7課から第12課(ただし、実際の進捗状況による)までを学習し、初歩レベルの中国語の習得を目指す予定である。よって、前期「中国語」から履修することを強く要望する。
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	授業ガイダンス+振り返り	前期のおさらい①	前期の内容を振り返る	全体で 90分
2	振り返り	前期のおさらい②	前期の内容を振り返る	全体で 90
3	第7課	コンビニで	前回の復習、第7課の内容	30 60
4	第8課	バス停で	前回の復習、第8課の内容	30 60
5	7~8課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60
6	第9課	放課後に	到達度チェック解説、第9課の内	30 90
7	第10課	卓球の中継を見ながら	前回の復習、第10課の内容	30 60
8	9~10課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60
9	第11課	ディズニーランドで待ち合わせ	前回の復習、第11課の内容	30 60
10	第12課	カフェテラスで	前回の復習、第12回の内容	30 60
11	11~12課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60
12	まとめ①	授業内容全体の振り返り	総復習①	全体で 90
13	まとめ②	授業内容全体の振り返り	総復習②	全体で 90分
14	まとめ③	模擬試験①(HSKの紹介など)	(教員の指示に従う)	全体で 90
15	まとめ④	模擬試験②(定期試験について)	(教員の指示に従う)	全体で 90
【テキスト】		はじめまして!中国語(予定)白水社		
【参考書・参考資料等】		授業内で指示する。		
【成績評価基準・方法】		授業内の小テスト+期末試験+課題で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	200671	授業科目：日本語講座A I (Japanese A 1)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：平田・富吉・臼井
【授業の到達目標】			
<目的> 大学で学ぶ上で必要なアカデミックジャパニーズの基礎を身につける 論理的な筋道を意識しながら、自分の考えを述べられるようになる			
<到達目標> ・ふさわしい文体や語彙を用いて、マナーを守ったメールの文面が書けるようになる ・書き言葉を用いて、身近なトピックについての説明文が書けるようになる ・各レベルに応じた各種資格試験に合格する			
【授業の概要】 本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。 なお、クラス分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。			
<総合クラス：平田・富吉担当> ・日本語によるメールの表現や書き方、コミュニケーション上のマナーを学ぶ ・対人性、場面性を意識したライティング・スキルを身に着ける ・適切な書き言葉の表現を用いて、読み手を意識した説明文の書き方を学ぶ			
<試験対策クラス：平田・臼井他> ・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	オリエンテーション(平田・臼井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する予習プリント
2	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する文字語彙のテキスト予習
3	日本語演習1	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習
4	日本語演習2	メールの書き方「依頼する」①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習
5	日本語演習3	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習
6	日本語演習4	メールの書き方「依頼する」②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習
7	日本語演習5	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習
8	日本語演習6	提出物「依頼メール」のフィードバック	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習
9	日本語演習7	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習
10	日本語演習8	メールの書き方「謝罪する」①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習
11	日本語演習9	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習
12	日本語演習10	メールの書き方「謝罪する」②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習
13	日本語演習11	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法)	予習プリント 授業内容の復習
14	日本語演習12	提出物「謝罪メール」のフィードバック	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習

15	日本語演習13	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
16	日本語演習14	レポートを書くための日本語①「た・である体」会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
18	日本語演習16	レポートを書くための日本語②「書き言葉表現」会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
20	日本語演習18	レポートを書くための日本語③「接続詞」会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
22	日本語演習20	作文試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
24	日本語演習22	レポートのための日本語④「簡潔な文の書き方」会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
26	日本語演習24	作文試験フィードバック	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
28	日本語演習26	書き言葉を使った説明文の練習①会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
30	日本語演習28	書き言葉を使った説明文の練習②会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
【テキスト】		「語彙ドン！大学で学ぶためのことば」くろしお出版		
【参考書・参考資料等】		授業中に、適宜配布・指示する		
【成績評価基準・方法】		クイズやテスト、提出物、授業態度などから総合的に評価する。詳細は、初回の授業で説明する。		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	200681	授業科目：日本語講座AⅡ (Japanese A 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：平田・富吉・臼井	
【授業の到達目標】				
<目的> 大学で学ぶ上で必要なアカデミックジャパニーズの基礎を身につける 論理的な筋道を意識しながら、自分の考えを述べられるようになる				
<到達目標> ・客観的な視点から、意見を述べられるようになる ・読み手に配慮しつつ、まとまりのある意見文が書けるようになる ・書き言葉と話し言葉を場面に応じて、自由自在に使い分けられるようになる ・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】 本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。 なお、クラス分けは日本語能力試験および日本語講座A1の結果によるものとする。				
<総合クラス：平田・富吉担当> ・意見文を書くための日本語や構成を学ぶ ・ふさわしい文体や語彙を用いて、まとまりのある意見文を書く ・書き言葉と話し言葉を状況に応じて自在に使い分ける練習をする ※作文試験では、与えられたテーマについて、即座に書き言葉を使って意見文を表現できるかを評価する ※会話試験では、与えられたテーマについて、即座に話し言葉を使って意見を述べられるかを評価する				
<試験対策クラス：平田・臼井他担当> ・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙テキストの予習	30 60
2	オリエンテーション(平田・臼井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 予習プリント	30 60
3	日本語演習1	意見文を書くための日本語文法①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
4	日本語演習2	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
5	日本語演習3	意見文を書くための日本語文法②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
6	日本語演習4	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
7	日本語演習5	意見文を書くための日本語文法③	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
8	日本語演習6	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
9	日本語演習7	意見文の書き方①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
10	日本語演習8	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
11	日本語演習9	意見文の書き方②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
12	日本語演習10	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
13	日本語演習11	意見文の書き方③	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60

14	日本語演習12	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
15	日本語演習13	作文試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
16	日本語演習14	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	書き言葉と話し言葉の使い分け①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
18	日本語演習16	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	書き言葉と話し言葉の使い分け②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
20	日本語演習18	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	書き言葉と話し言葉の使い分け③	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
22	日本語演習20	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	模擬会話試験①	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
24	日本語演習22	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	模擬会話試験②	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
26	日本語演習24	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	模擬会話試験のフィードバック	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
28	日本語演習26	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	会話試験	文字語彙テキストの予習 授業内容の復習	60 60
30	日本語演習28	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	予習プリント 授業内容の復習	60 60

【テキスト】	「語彙ドン！大学で学ぶためのことば」くろしお出版
【参考書・参考資料等】	授業中に、適宜配布・指示する
【成績評価基準・方法】	クイズ、各種試験、提出課題、授業態度により総合的に評価。詳細はオリエンテーションで説明する。
【実務経験内容】	なし

教科番号	200691	授業科目：日本語講座B I (Japanese B 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	2年	2単位 担当者：平田・富吉・臼井
【授業の到達目標】				
<目的>				
①アカデミックジャパンーズを更に伸ばし、卒業研究を遂行するための基盤を作る。 ②就職活動や卒業後を視野に入れ、主に他者とのコミュニケーションに必要となる日本語力を身につける。				
【到達目標】				
・テーマを多角的に考察した上で、根拠とともに自分の意見が述べられるようになる ・他者に配慮しながらディスカッションなどのやりとりができるようになる ・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】				
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。 なお、レベル分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。				
<水曜：平田・富吉>				
・賛否両論ある話題をとり上げ、物事を多角的に考察し、論理的に意見を述べる力を養う ・相手に配慮をしながら自分の意見を述べる力を養い、ディスカッションの練習をする ・より円滑にコミュニケーションをするため、インターアクションに必要なスキルのトレーニングを行う				
<木曜：平田・臼井>				
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
2	オリエンテーション(平田・臼井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
3	日本語演習1	賛否両論あるトピックに対する意見の述べ方①	漢字プリント 復習・口頭練習	60 60
4	日本語演習2	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
5	日本語演習3	賛否両論あるトピックに対する意見の述べ方②	漢字プリント 復習・口頭練習	30 90
6	日本語演習4	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
7	日本語演習5	賛否両論あるトピックに対する意見の述べ方③	漢字プリント 復習・口頭練習	30 60
8	日本語演習6	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
9	日本語演習7	ディスカッション①(意見を述べる)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 60
10	日本語演習8	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
11	日本語演習9	ディスカッション②(質問・聞き返し)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 60
12	日本語演習10	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
13	日本語演習11	ディスカッション③(賛成する)	漢字プリント 意見メモ作成	30 60
14	日本語演習12	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60

15	日本語演習13	ディスカッション④(反対する)	漢字プリント 意見メモ作成	30 60
16	日本語演習14	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	ディスカッション⑤(部分的賛成、反対)	漢字プリント 意見メモ作成	30 60
18	日本語演習16	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	ディスカッション(まとめ)	漢字プリント 模擬ディスカッション試験準備	30 90
20	日本語演習18	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	模擬ディスカッション準備	漢字プリント 模擬ディスカッション試験準備	30 90
22	日本語演習20	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	模擬ディスカッション	漢字プリント ディスカッション試験準備	30 90
24	日本語演習22	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	模擬ディスカッションフィードバック ディスカッション試験準備	漢字プリント ディスカッション試験準備	30 90
26	日本語演習24	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	ディスカッション試験1	漢字プリント 復習	30 30
28	日本語演習26	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	ディスカッション試験2	漢字プリント 復習	30 30
30	日本語演習28	定期試験	総復習	120
【テキスト】	授業内で指示する			
【参考書・参考資料等】	授業中に、適宜配布・指示する			
【成績評価基準・方法】	提出課題、ディスカッション、クイズ、定期試験、授業態度により総合的に評価。詳細はオリエンテーションで説明する。			
【実務経験内容】	なし			

教科番号	200701	授業科目：日本語講座B II (Japanese B 2)
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：平田・富吉・臼井
【授業の到達目標】		
<p><目的></p> <p>①アカデミックジャーナルズを更に伸ばし、卒業研究を遂行するための基盤を作る。</p> <p>②就職活動や卒業後を視野に入れ、主に他者とのコミュニケーションに必要となる日本語力を身につける。</p>		

【授業の概要】
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。
なお、レベル分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。
<水曜：平田・富吉>
・賛否両論ある話題をとり上げ、物事を多角的に考察し、論理的なレポートを書ける力を養う ・直接引用／間接引用のルールを学ぶ ・より円滑にコミュニケーションをするため、インターアクションに必要なスキルのトレーニングを行う
<木曜：平田・臼井>
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(平田・臼井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
2	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
3	日本語演習1	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
4	日本語演習2	レポート・論文を書くための日本語文法①	漢字プリント 復習	30 90
5	日本語演習3	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
6	日本語演習4	レポート・論文を書くための日本語文法②	漢字プリント 復習	30 90
7	日本語演習5	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
8	日本語演習6	レポート・論文を書くための日本語文法③	漢字プリント 復習	30 90
9	日本語演習7	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
10	日本語演習8	レポート・論文を書くための日本語文法④	漢字プリント 復習	30 90
11	日本語演習9	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
12	日本語演習10	レポート・論文を書くための日本語文法⑤	漢字プリント 復習	30 90
13	日本語演習11	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60

14	日本語演習12	レポートの書き方①(論理的な文章とは)	漢字プリント レポートのための調べ学習	30 90
15	日本語演習13	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
16	日本語演習14	レポートの書き方②(構成・章立て)	漢字プリント レポートのための調べ学習	30 90
17	日本語演習15	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
18	日本語演習16	レポートの書き方③(データの扱い)	漢字プリント レポート執筆	30 90
19	日本語演習17	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
20	日本語演習18	レポートの書き方④(引用方法)	漢字プリント レポート執筆	30 90
21	日本語演習19	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
22	日本語演習20	レポートの書き方⑤(考察・まとめ)	漢字プリント レポート執筆	30 90
23	日本語演習21	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
24	日本語演習22	文の一貫(呼応表現)①	漢字プリント 復習	30 30
25	日本語演習23	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
26	日本語演習24	文の一貫(呼応表現)②	漢字プリント 復習	30 30
27	日本語演習25	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
28	日本語演習26	総復習	漢字プリント 復習	30 30
29	日本語演習27	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
30	日本語演習28	ミニテスト・総まとめ	総復習	30 120
【テキスト】	授業内で指示する			
【参考書・参考資料等】	授業中に、適宜配布・指示する			
【成績評価基準・方法】	提出課題(レポート、自宅学習用プリント)、クイズ、定期試験、授業態度により総合的に評価。詳細はオリエンテーションで説明する。			
【実務経験内容】	なし			

教科番号	209391	授業科目：キャリアデザイン I (Career Development 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 1単位 担当者：西田 えまぶ		
【授業の到達目標】				
自国と日本の違いを理解し、日本で働く目的を整理する。 日本企業で働くための基礎知識およびビジネスマナーを習得し、得た知識を就職活動及び入社後に役立てるこ と。				
【授業の概要】				
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人学生も日本人学生も「異文化理解」を深める。 ・日本で働く目的を整理する。 ・日本企業で働くための基礎知識およびビジネスマナーを項目ごとに解説する。 ・ビジネスで使うていねいな日本語を意識し、特に外国人学生は日本語でのコミュニケーションを重視し進行する。 				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション	あいさつ、スケジュール説明、授業目的 自己紹介（グループワーク）		30
2	日本企業で働くための基礎知識	日本に留学しようと思ったきっかけ 働きたい理由（グループワーク）	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
3	日本企業で働くための基礎知識	自国人と日本人の違い (グループワーク)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
4	日本企業で働くための基礎知識	異文化コミュニケーション 日本人のコミュニケーションの特徴	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
5	日本企業で働くための基礎知識	コミュニケーションについて 非言語情報の影響と第一印象	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
6	日本企業で働くためのビジネスマナー	あいさつ・お辞儀、自己紹介のしかた 自分の印象作り(実習)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 60
7	日本企業で働くためのビジネスマナー	名刺交換 (実習)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 60
8	日本企業で働くためのビジネスマナー	ことばづかい 敬語について	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
9	日本企業で働くためのビジネスマナー	電話応対 (基本的な対応実習)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
10	日本企業で働くためのビジネスマナー	電話応対 (状況に合った対応実習)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
11	日本企業で働くためのビジネスマナー	ビジネスメールの書き方 (ビジネスメール、就職活動のメール)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
12	日本企業で働くためのビジネスマナー	ビジネス文書 (社内、社外文書)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
13	日本企業で働くためのビジネスマナー	ビジネス文書 (宛名書き 封書、はがき)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
14	前期まとめ	テスト演習		30 30
15	前期まとめ	テスト演習		60 120
【テキスト】		プリントを使用、次の授業のプリントを配布。		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		試験(50%)大福帳(30%)授業態度(10%)出席状況(10%)		
【実務経験内容】		なし		

教科番号	209401	授業科目：キャリアデザインⅡ(ものづくりの基本)(Career Development 2)
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 1単位 担当者：窄頭 匡之

【授業の到達目標】

- ・製造業における製品設計や製造現場における仕事のマナーについて、品質管理の概念を通じて学ぶ。これにより、技術系職場における仕事の内容を理解する。
- ・「ものづくり検定」の「基礎」(Fundamental)の試験において80%以上正解することを目標とする。

【授業の概要】

- ・一般社団法人ものづくり検定協会作成の教科書にしたがい、学習する。
- ・適宜、就職紹介関連企業や先輩などをゲストとして呼び、話を聞く時間も設ける。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ものづくりの見方・考え方(1)	ものづくりにおける品質とその重要性 品質優先の考え方、ものづくりの基本	シラバスの内容を理解する。 授業内容を復習する。	30 60
2	ものづくりの見方・考え方(2)	顧客満足。問題と課題。 苦情、クレーム。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
3	管理とは	改善活動(維持と改善)の基本。仕事の進め方。ものづくり評価の管理項目。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
4	改善(1)	継続的改善。QCストーリー。 3ム(ムリ、ムダ、ムラ)	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
5	改善(2)	小集団活動。 重点思考。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
6	工程(プロセス)	前工程と後工程。工程の5M(ごえむ) 工程異常とは(異常原因、偶然原因)	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
7	検査(1)	検査の目的・意義・考え方 適合(品)と不適合(品)	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
8	検査(2)	ロットの合格・不合格。 検査の種類と方法。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
9	標準・標準化(1)	標準化とは。業務に関する標準、 品物に関する標準(規格)	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
10	標準・標準化(2)	いろいろな標準(国際、国内)	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
11	ものづくりのデータ分析方法(1)	データのとり方。データの種類。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
12	ものづくりのデータ分析方法(2)	データのまとめ方。QC七つ道具。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
13	より良いものづくりのための 心構えと行動(1)	報告・連絡・相談(ほうれんそう)。 5W1H。3現主義と5現主義。マナー	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
14	より良いものづくりのための 心構えと行動(2)	5S(ごえす)と安全衛生の活動。	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60
15	全体まとめ	全体の復習	テキストの内容を予習する。 授業内容を復習する。	30 60

【テキスト】 独自の教科書(「ものづくり検定 基礎(ファンダメンタル)編」)

【参考書・参考資料等】

【成績評価基準・方法】 期末試験(50%)、「ものづくり検定試験」結果(30%)、授業態度(20%)

【実務経験内容】 なし

教科番号	209341	授業科目：ベンチャービジネス論(Theory of Venture Business)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：原 吉伸		
【授業の到達目標】				
ベンチャービジネスの様々な事例研究と、講師との討議を通して、本講義では以下の4つを学ぶ				
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルの設計方法 ・ビジネスプランの作成方法 ・ベンチャースピリッツ ・企業家に求められるスキル・知識 				
ベンチャービジネスの企画プロセスを疑似体験することで、起業のイメージを形成できるレベルを目指す				
【授業の概要】				
ベンチャービジネスを実践している企業は、「世の中をどうやって変えていくか」というイノベーティブな発想に基づく経営理念を持っており、起業家として負けず嫌いで強烈な熱意も持っている 本講義では、日本発のベンチャービジネスの事例研究をしながら、 1. 「顧客ニーズの把握」と「差別化された製品・サービスの提供」をしっかりとらえること、 2. 財務計画に基づくビジネスプランを作成すること 3. 革新的ビジネスモデルを設計すること				
に重点を置いて、ビジネス企画のプレゼンテーションや双方向のディスカッションを加えて講義を進める				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ベンチャービジネスについて	ベンチャービジネスの定義と講義の進め方を解説。宿題を出す	シラバスを確認する。宿題と授業の内容を復習する	30 60
2	事例研究(I)	宿題の発表後、「コンビニと置き菓子」ビジネスを取り上げて、しくみを学ぶ	「コンビニと置き菓子」ビジネスの予習・復習を行う	60 60
3	ビジネスモデル(I)	宿題の発表後、ビジネスモデルの定義と事例を取り上げて、パターンを学ぶ	ビジネスモデルの定義について、予習・復習を行う	60 60
4	事例研究(II)	宿題の発表後、「宅配便とAmazon」のビジネスを取り上げて、長所・短所を学ぶ	「宅配便とAmazon」のビジネスについて、予習と復習を行う	60 60
5	ビジネスモデル(II)	宿題の発表後、「クラウド・コンピューティング」のビジネスモデルを考察する	「クラウド・コンピューティング」のビジネスを予習と復習を行う	60 60
6	事例研究(III)	宿題の発表後、「セコム」のビジネスを学ぶ。ビジネス企画を行う	セコムの「ネットワーク型ビジネス」を予習・復習する	60 60
7	ビジネス企画発表・評価	選抜されたものがプレゼンを行い、学生が評価する	プレゼンの準備を行う	120 60
8	ビジネスモデル(III)	業務プロセス設計、業務フロー図の書き方を学ぶ	業務フローの作成について、予習と復習を行う	60 30
9	まとめと振返り(I)	第1回～8回までの「中間テスト」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 60
10	ビジネスアイデアの抽出法	中間テストの解説後、ビジネスアイデアの抽出方法を学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
11	ビジネスモデル(IV)	「ロングテール」「フリー」などの特徴をもつ「インターネットサービス」を考察する	「インターネットサービス」のビジネスの予習と復習を行う	120 60
12	ビジネスプラン作成(I)	財務計画を作成するための基礎知識を学ぶ	財務の基礎知識について予習と復習を行う	60 30
13	ビジネスプラン作成(II)	戦略立案のために、ミニ・ケーススタディーを行う	基本的な戦略手法を予習・復習する	60 60
14	ビジネスプラン作成(III)	顧客ニーズの把握、製品・サービスの差別化に関する事例研究する	顧客ニーズ分析や差別化戦略について予習と復習を行う	60 60
15	まとめと振返り(II)	まとめと総括、「総活テスト」を行う。テスト後、解説を行う	総活テストの実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
【テキスト】		毎回、資料を作成して配布する		
【参考書・参考資料等】		講義中に適宜、配布する		
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、ビジネス企画発表(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する		
【実務経験内容】		警備サービス業(ネットワークシステムの構築等) コンサルタント業(経営コンサルティング等)		

教科番号	209361	授業科目：経営リーダーシップ論(Management Leadership)
------	--------	---

開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位 担当者：溝口 浩司
------	----	------------------------------

【授業の到達目標】

ビジネスプロフェッショナルとして必須となるリーダーシップ概念・基本知識をマネージメント目線で学ぶ。特に働き方改革、アウトソーシング、グローバリゼーション、ハラスメント、CSRなど、現代マネージメントとして新たに認識しておくべきポイントも事例等交えながら、知識・認識の向上を図る。

【授業の概要】

現在にも通じる名著P.F.ドラッカーの『マネージメント』をベースにマネージメント・リーダーシップの基本概念を解説する。事例を多用し、学生とのディスカッションを中心とした対話形式で進行する。学習効果の向上を企図し、積極的にグループ・ワークやディスカッションを行う。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	講義計画・内容の説明。	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
2	マネージメントの役割1	企業の成果、仕事と人間、など	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
3	マネージメントの役割2	マネージメントと社会、プロフェッショナルの論理など	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
4	マネージメントの必要性1	マネージャーとは何か。	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
5	マネージメントの必要性2	マネージメントのスキル	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
6	マネージメントの必要性3	マネージメントの組織	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
7	2回～6回のまとめ	ここまで学んだ内容についてディスカッションを行う。	ディスカッションに向けた予習および終了後に復習	30 60
8	現代マネージメントのスキル1	モチベーション、人の動機付け、評価	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
9	現代マネージメントのスキル2	働き方改革、多様な人材のプロジェクトマネージメント	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
10	現代マネージメントのスキル3	ハラスメントを理解する	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
11	マネージメントの戦略1	トップマネージメント	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
12	マネージメントの戦略2	グローバリゼーションに於けるマネージメントスキル・事例等	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
13	マネージメントの戦略3	イノベーション、マネージメントの正統性	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
14	8回～13回のまとめ	ここまで学んだ内容についてディスカッションを行う。	ディスカッションに向けた予習および終了後に復習	30 60
15	まとめと総括	まとめと総括。重要ポイントの復習	重要ポイントを説明できるように練習する。	30 60

【テキスト】	D・カーネギー『人を動かす』(文庫版)創元社
--------	------------------------

【参考書・参考資料等】	授業中に適宜指示を行う。
-------------	--------------

【成績評価基準・方法】	授業中発言70%、課題提出30%で総合的な評価を行う。
-------------	-----------------------------

【実務経験内容】	
----------	--

教科番号	219541	授業科目：マーケティング論 I (Marketing 1)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科	・年　・単位　　担当者：
【授業の到達目標】			
マーケティングの基本的な用語と概念を理解し、社会の至る所で行われているマーケティングの活動の存在に気づき、その意味と企業の戦略を把握できるようになることを到達目標とする。			
【授業の概要】			
マーケティングはビジネスを行う上で必要不可欠な概念であり、社会に出てからもどんな立場であってもその概念を理解しておくことは有益である。本講義では、身近にあるトピックスを用いてセールスやブランディングなど、マーケティングに関する基礎を幅広く学んでいく。マーケティングの基本的な考え方やアプローチについて、グループワークやディベート、少人数による話し合いを実施し、仲間との協働作業の楽しさと難しさも経験する。 ※ 【授業要旨】の「題目」にある()内の数字は、マーケティング I 、II を合わせた回数。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	マーケティング基礎 セールスについて	中古のプリンタを欲しい人はいない? マーケティングの基礎知識を学ぶ。	マーケティングに関する用語を調べる。授業内容をまとめる。
2	顧客の分類 人による認識の違いを理解する	絵本「くいしんぼうのあおむしくん」を読んで意見を述べる。	マーケティングにおける「顧客」について検討。授業内容をまとめる。
3	行動経済学①	『マンガで学ぶ経営学』よりお金とモチベーションについて考える。	「行動経済学」について予習。取り上げたトピックスをまとめる。
4	参入する市場(マーケット)、収益の多様化とリスクヘッジ	ブルーオーシャンとレッドオーシャンについて。収益の多様化の重要性。	ブルーオーシャンとレッドオーシャンを調べる。授業内容をまとめる。
5	テキストとマーケティングに関する新聞記事から学ぶ①	「顧客満足の仕組みとしてのマーケティング」	マーケティングに関する新聞記事を読む。授業内容をまとめる。
6	ブランディング(①)	ブランドを高めるメリット。企業規模によるブランディングの違いについて。	ブランドの意味について考える。ブランドの価値について再考する。
7	リカーリングモデルとサブスクリプション	固定費用と固定収入について。定額料金の徴収について。	身の回りのサブスクについて考える。授業内容をまとめる。
8	失敗から学ぶ企業経営(①)	会社は赤字ではつぶれない? 大口顧客に依存することのリスク。	会社の倒産について考える。経営上のリスクについて考える。
9	ドラッカーから学ぶ(①)	顧客とは? 顧客の創造とは?	P.F.ドラッカーについて予め調べておく。授業内容をまとめる。
10	セールス(①)	「限定」について考える。価格設定、内的参考価格と外的参考価格。	セールスにおける「限定」の効果を考える。授業内容をまとめる。
11	ICTとマーケティング(①)	ICTの発展とSNSの活用	SNSとマーケティングについて調べる。授業内容をまとめる。
12	小売業のマネジメントと人的管理	店舗運営とトップの仕事。中古品の買取・販売に関する法律。類人猿診断。	店舗マネージャーに必要な資質を考える。自らに置き換えて考える。
13	テキストとマーケティングに関する新聞記事から学ぶ②	「マズローの欲求五段階説から見る『ニーズ』」	マズローの欲求五段階説について予習する。授業内容をまとめる。
14	行動経済学②	「仕掛け学」に関するDVDの視聴	「仕掛け学」について予習する。自ら新しい「仕掛け」を考える。
15	まとめ・総括	まとめ、質問ほか。授業アンケート、感想シートへの記入。	これまでの内容について質問を考える。授業全体の復習。
【テキスト】		必要に応じて担当教員が用意。	
【参考書・参考資料等】		安原智樹『新版 マーケティングの基本』日本実業出版社、2018年。 嶋正ほか編『現代マーケティングの基礎知識』創成社、2013年。 十川廣國『経営学入門[第2版]』中央経済社、2013年。 小宮紳一『事例で学ぶサブスクリプション』秀和システム、2019年。 Team GATHER Project『人間関係に必要な知恵はすべて類人猿に学んだ』夜間飛行、2015年。 高橋伸夫ほか『大学4年間の経営学がマンガで学べる』KADOKAWA、2018年。	
【成績評価基準・方法】		授業への積極的な参加 50% 感想シートの記述と提出 30% 小レポート 20%	
【実務経験内容】			

教科番号	219551	授業科目： マーケティング論Ⅱ（Marketing 2）	
開講時期	後期	情報電子システム工学科	・年　・単位　　担当者：
【授業の到達目標】			
「マーケティングⅠ」を深掘りし、実社会で行われている活動について学ぶ。最終的に自らの考える「マーケティング」について、自分の言葉で語れるようになることを到達目標とする。			
【授業の概要】			
「マーケティングⅠ」で学んだ基礎を発展させ、著名な経営学者の理論や経営に関する主要な概念を学ぶ。また、実際にキャッチコピーや商品の売り方に関するシミュレーションも行い、将来的に自らがマーケティングの担当者になったり、起業し経営者になったりした場合にも役立つ能力を身につける。より実践的な知識や情報の獲得も行っていく。			
※ 【授業要旨】の「題目」にある()内の数字は、マーケティングⅠ、Ⅱを合わせた回数。			
【授業要旨】			
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)
1	マーケティングとは？セールスとは？	マーケティングⅠの振り返りと基礎知識に関する復習と確認。	マーケティングⅠの復習。マーケティングの用語をまとめる。 30 60
2	白熱教室DVD視聴「お金と感情と意思決定」	DVDの視聴、感想シートの記入。それについての意見を述べる。	人の「意志決定」について考える。視聴したDVDの内容をまとめる。 30 60
3	テキストとマーケティングに関する新聞記事から学ぶ(③)	「マーケティング・ミックスと4Pとの関係を整理する」	マーケティングにおける4Pについて調べる。授業内容をまとめる。 30 60
4	プランディング(②)	パーソナルプランディング。中小企業と経営者のプランディング。	プランディングについて調べる。プランディングについてまとめる。 30 60
5	失敗から学ぶ企業経営(②)	経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」。人的リスクとバイトの「総上がり」。	「従業員の雇用」について考える。人的なリスクについてまとめる。 30 60
6	ランチェスター戦略とは？	「弱者の練略」。中小企業の定義、ほか。	「ランチェスター」について調べる。授業内容をまとめる。 30 60
7	ドラッカーから学ぶ(②)	組織の役割。「強みを活かし、弱みを打ち消す」ことについて。	自らの「強み」について考える。組織マネジメントについてまとめる。 30 60
8	セールス①(②)	日本の松竹梅と価格設定。メディア戦略とプレスリリースについて。	どのような宣伝・広告媒体があるか考える。価格戦略をまとめる。 30 60
9	ICTとマーケティング(②)	ICTの活用。炎上とレビュー・ションリスクについて。	企業のICTの活用事例を検討する。授業内容をまとめる。 30 60
10	経営学者の理論に学ぶ	P.コトラーとM.ポーター。	コトラーとポーターについて調べる。両者の理論をまとめる。 30 60
11	企業研究・非営利組織のマーケティング戦略	「無印良品」というブランドについて。非営利組織のマーケティング。	「無印良品」について調べる。授業内容をまとめる。 30 60
12	行動経済学(③)	『ヘンテコノミクス』より顧客の心理について学ぶ。	「行動経済学」について予習。取り上げたトピックスをまとめる。 30 60
13	セールス②(③) 宣伝・広告戦略	キャッチコピーを考える① POPやキャッチコピーを実際に作成。	企業のキャッチコピーについて考える。授業内容をまとめる。 30 60
14	セールス③(④) キャッチコピー	キャッチコピーを考える② 発表	発表準備。キャッチコピーについてまとめる。 30 60
15	まとめ・総括	まとめ、質問ほか。授業アンケート、感想シートへの記入。	これまでの内容について質問を考える。授業全体の復習。 30 60
【テキスト】	必要に応じて担当教員が用意。		
【参考書・参考資料等】	安原智樹『新版 マーケティングの基本』日本実業出版社、2018年。 浅沼宏和『世界一やさしいマイケル・ポーター「競争戦略」の教科書』ぱる出版、2012年。 P.コトラー、K.ケラー『コトラー＆ケーラーのマーケティング・マネジメント(第12版)』バベル、2008年。 矢野新一『マンガでわかるランチェスター戦略』C & R研究所、2010年。		
【成績評価基準・方法】	授業への積極的な参加 50% 感想シートの記述と提出 30% 小レポート 20%		
【実務経験内容】			